

青森家庭少年問題研究会では、平成25年7月から、毎週土曜日の午前中、小学生・中学生等を対象に、学習支援活動を行っています。

青森市母子寡婦福祉会の協力を得て、現在ひとり親家庭の子どもたち12人を対象に、ボランティア登録してくれた県立保健大学の学生さんが、子どもたちの学習進度に合わせて1対1を原則に勉強を教えています。

## ■今年度後半の行事報告です。

### ①クリスマス会(12月23日市民ホール)

キャンドルサービスで厳かな雰囲気を感じた後、クリスマスのあてゲームを楽しみました。サンタさんも飾られたデコレーションケーキを切り分けて、おいしくいただきました。



### ②冬のレクリエーション(1月13日市民ホール)

“バスボム”って何？重曹・クエン酸・オイルを混ぜてギュッとすると→入浴剤に！不思議な感覚でした。第2部は子どもたちにとっては意外に新鮮な”カルタとり”ゲーム、自発的に読み手を引き受けてくれたり、取り札が少ない友達に譲ってくれたりという、ほっこりした場面もありました。

### ③卒業を祝う会(3月9日市民ホール)

卒業生は、子どもたちが4人、学生さんは7人でした。そのうち中学卒業生は1人でしたが、私立・公立とも志望校に合格で

きました。おめでとうございます。

久しぶりに顔を合わせて学生と子どもたちの会話が弾み、懐かしくて嬉しい、そして少し寂しくもあるひとときでした。

この日までサタ☆くらに来てくれた子どもたち・学生の皆さん、この場所を忘れず、時々思い出し、またいつでも遊びに来てください。ありがとうございます。



### ■子どもの望ましい行動を伸ばす学習会

東北ろうきん様からの助成を受け、1月20日から、ボランティアの学生を対象に、子どもたちの学習支援技術の向上を図るための連続講座を開催しています。サポートハウス「ミライエ」の佐野幸子先生から、認知行動療法をベースとした子どもたちの好ましい行動を増やすための「褒め方」や「上手な無視の仕方」の指導を受けています。

